

事例 14 森林環境教育のコンテンツを作成

(近畿中国森林管理局 ^{みのお}箕面森林ふれあい推進センター)



創作紙芝居
「もくざいのヒミツ」



森林環境教育手引書

^{みのお}箕面森林ふれあい推進センターでは、森林環境教育の活動フィールドとして国有林野の提供に取り組むとともに、森林環境教育をより効果的に行うことができるよう、プログラムの整備に取り組んでいます。

令和2年度から職員の創作により紙芝居や絵本の制作に取り組んでおり、令和3年度には、木材の良さを楽しみながら学べる「もくざいのヒミツ」を制作し、絵本を小学校等の教育機関等に配布するとともに、森林管理局ホームページにデジタル版を公表しました。

また、同センターでは、小学校教員が教育現場で森林環境教育を負担なく実践できるようにするため、「森林環境教育手引書」を作成しています。令和3年度には、平成29年に改訂された小学校の学習指導要領が全面実施となったことを受け、有識者（大学教授、小学校教員）による検討委員会での意見を踏まえ、森林環境教育の目標に児童が主体的に問題解決を図る能力を育成することを追加するとともに、それに資する自然観察の具体的な方法を盛り込むなどの改訂をしました。新たな手引書を同局管内の教育委員会へ配布したところ、小学校教員から「教育現場での環境教育に役立つ」との意見が多く寄せられました。

今後は、これらのコンテンツを活用しながら、森林の大切さや木材の有用性を子供たちに伝えるとともに、教育関係者等による森林環境教育を引き続き推進します。